

(ほう)こん

題字・清水英夫

GALAC・8月号・付録
2009年8月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年6月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 5379-5521 / FAX (03) 5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・隈部紀生

◆NPO法人放送批評懇談会 第5回通常総会報告

6月21日(日)にNPO法人放送批評懇談会の第5回(2009年度)通常総会を東京厚生年金会館で開催した。開会時(午後2時50分)に正会員の当日出席者は19人(開会後若干増加)で、委任状提出者は89人で合わせて108人が出席し、正会員195人の過半数98人を上回り、総会は成立した。審議の概要は以下の通り。

第1号議案(議長の選任)

出席正会員の深川章さんを選任し、議事進行をお願いした。

第2号議案(2008年度事業報告)

5つの事業部門の委員長、担当者から報告があり、拍手で承認された。

2009年度総会開催 事業報告・決算、事業 計画・予算承認される

第3号議案(2008年度収支決算)

中島事務局長が報告し、田代監事から監査の結果適正と認める旨の報告があつて、賛成多数で承認された。

第4号議案(2009年度事業計画)

各事業部門の委員長、担当者から提案があり、拍手で承認された。



議長を務めた深川章さん(中央)を囲む、音理専長(左)と隈部専務理事

第5号議案(2009年度収支予算)

事務局長が総額8630万円の2009年度予算案を提案し、賛成多数で承認された。

このあと総会の議事録署名人2人を選任して午後4時40分総会を終了した。

※総会の議事録は縮刷版にして後日お手元にお届けいたします。

このあと出席者の自由討議に移り、まず音好宏理事長が第5期の方針について次のように話した。「経済危機や放送をめぐるメディア状況から放送の経営は厳しい。そんな中で放送局の理解を深めて維持会員、正会員を維持拡充できるように頑張りたい。デジタル時代の進展で新しい放送批評が求められる。諸外国では放送批評家が番組批評とともに放送改革への提言もしている。次世代の批評を確立したい」。続いて出席の全会員が自己紹介や当面の会活動についての考えなどを話した。終了後懇親会に移り午後6時すべてを終了した。

鴨下信一さんを囲む会のお知らせ

放懇有志の企画でドラマの第一人者鴨下信一さんを囲んでお話を伺う会を開きます。ふるってご参加ください。

日時 7月24日(金) 午後6時から9時まで

場所 東京ウィメンズプラザ

東京メトロ表参道駅B2出口を出て、国連大学を右に入り、エスカレータ降り口の右側

参加費 1000円

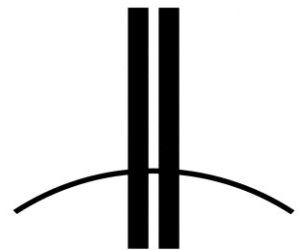
ドラマ演出の大御所鴨下信一さんが満を持してエネルギーを噴出させた。2008年12月24日TBSでシリーズ 激動の昭和「あの戦争は何だったのか」の第2弾として放送された「日米開戦と東条英機」(4時間37分)である。

なぜ戦争を始めたのか。ドキュメンタリードラマの手法を駆使して、東条英機を軸に戦争に至るまでを丁寧に描いた。ビートたけし(東条)、阿部寛、野村萬斎、風間杜夫、大杉漣、橋爪功、西田敏行といった多彩で豪華な出演者の巧みな会話による再現ドラマに引き込まれた人は多い。鴨下さんの時代認識と洞察による演出が実った。鴨下さんはなぜ太平洋戦争にこだわって難しいドラマに挑戦したのか、すべてを語っていただく。「岸辺のアルバム」以来の過去の演出作品についても触れる。

問い合わせは

石井清司メディア研究所

電話 090-9333-1633 Fax 03-3594-1633



☆ギャラクシー賞マイベストTV賞☆

2009年6月度の投票も始まりました!

ギャラクシー賞マイベストTV賞2009年6月度作品の投票を開始します。正会員の皆さまは、添付した〈正会員専用投票用紙〉でマイベストTV賞の投票にご参加ください。

リスト以外の作品を記入できる欄もあります。ご活用ください。

ウェブまたは携帯サイトから参加の場合は、正会員専用のユーザー名ID、パスワードを使って投票ページに入ってください。

正会員の皆さまのご参加をお待ちしています!

◆6月理事会報告

6月21日総会に先立って理事会を開催した。

◇総会議案の承認

総会に提出する議案について各事業担当の委員長、担当者から説明があり、承認された。その際2008年度の黒字と関連して、退職給付引当金のほかにも将来の支出に備える引当金を計上してはどうかという提案があり、財務プロジェクトなどで検討することにした。

◇ギャラクシー賞贈賞式の反省会開催へ

6月2日の贈賞式について式典だけの収支決算は次回7月の理事会に持ち越したが、式の演出を中心に関係者による反省会を次回理事会直前の7月27日午後3時から開くことになった。

◇入会の承認

瀬尾伊知郎さん

◇退会の承認

松浦大介さん、杉原秀一さん、鈴木久尋さん、高橋俊明さん

◇次回の理事会

7月理事会は7月27日(月)午後6

時30分から。8月は休会。9月は9月30日(水)午後6時30分から。

〔出席〕

音好宏、隈部紀生、上滝徹也、小田桐誠、藤田真文、石井彰、五井千鶴子、小林毅、坂本衛、嶋田親一、滝野俊一、丹羽美之、橋本隆、藤久ミネ、山田健太



懇親会で乾杯！

会議記録

29日	理事会・第5回通常総会
26日	出版編集委員会
25日	(選奨) ラジオ定例部会
21日	(選奨) テレビ月評会
15日	(選奨) CM定例部会

正会員自己紹介

経験を生かし役立てる活動

稗田政憲

6月より放送批評懇談会の正会員になりました稗田政憲です。

1948年1月生まれの61歳です。70年にネスレ日本(株)に入社、その内の約25年間は広告宣伝畑を歩き、媒体統轄部部長を最後に昨年の7月に退職しました。

また99年から(社)日本アドバタイザーズ協会(JAA、旧日本広告主協会)の理事、2001年から昨年の7月まで常任理事と広告取引合理化委員長を務めました。現在はJAAと参与契約を結び、コンサルタント及び講演をおこなっています。

退職後、時間的にゆとりがあり、自分の経験を生かし何か役立てる活動をしたとネットで探して、いまだところ、放送批評懇談会がNPO法人で、10年以上のお付き合いをさせていただいている音さんが理事長だと知り早速入会を申請いたしました。

会の趣旨にそった貢献に努めますので、よろしくお願い申し上げます。

メディアはギャラクシー賞をどう伝えたか。

去る6月2日第46回ギャラクシー贈賞式には、50社以上の取材があり取り上げられた。



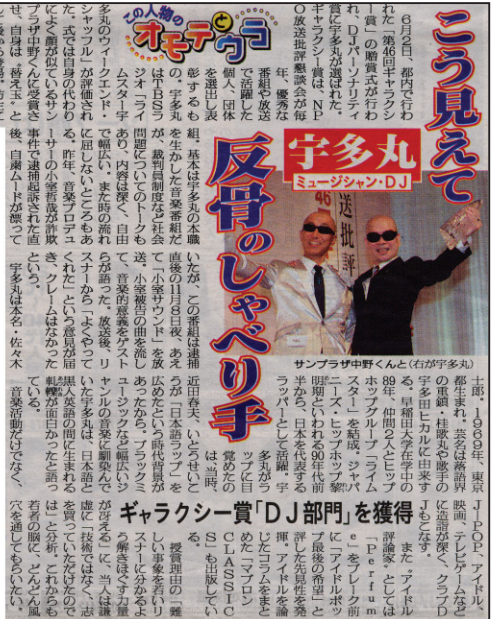
のジョン・カピラから「嵐と俳優とっちゃんい？」と問われた。嵐が「一番、クイズに答える」という変化が見えて楽しいと、Zテレビ愛を強調した。

デイリースポーツ 6月3日

「二宮和也」の俳優より嵐が好みます。二宮は、TBS系連ドラ「流星の絆」や同局のスペシャルドラマ「DOOR」の演技が認められて、個人賞の授賞によるマイベストV賞を受賞。二宮は「嵐の時はベラベラしゃべってんですが、ドラマだと暗い役が多いので切りかえはしやすい。司会



東京中日スポーツ 6月3日



日刊ゲンダイ 6月10日